

## 企業の課題解決を通じた「職種体験プログラム」の集大成 アップサイクルのアイデアを優秀賞チームが校内発表 大阪府摂津市立第五中学校にて 12 月 15 日

産業廃棄物の処理・リサイクル事業を手掛ける三洋商事株式会社（本社：東京都江戸川区、代表取締役：河原 林 令典<sup>かわらばやし よしのり</sup>）は、大阪府摂津市立第五中学校にて、2021 年 12 月 15 日（水）におこなわれた「職種体験プログラム」の集大成となる校内発表会に参加しました。

### ■ アップサイクルのアイデアをプレゼンテーション 企業の課題解決を通じて職種体験



12 月 15 日に開催された「職種体験プログラム」校内発表会の様子

当社は、大阪府摂津市教育委員会の依頼を受け、摂津市立第五中学校の 2 年生に向けて、「職種体験プログラム」の授業を 7 月 15 日に実施しました。その際、「アップサイクルのアイデアを考える」という課題を出し、4 チームがその課題に取り組みました。生徒は半年近くにわたって課題に向き合い、当社に向けてプレゼンテーションをおこなった結果、優秀賞として 1 チームを選出しました。優秀賞のチームは、12 月 15 日に校内発表をおこ

ないました。当発表会は、来年「職種体験プログラム」を受講する予定の 1 年生も見学し、当社もオンラインで参加しました。

優秀賞に選出したチームは、“ビニール傘”を女子高生・女子大生をターゲットにしたペンケースにアップサイクルするアイデアです。コンセプトは、「素敵でデザインで、簡単に使えて、手に入りやすい物」。透明なビニール素材のペンケースは、汚れがついても簡単に拭き取れるし、中身がかわいく見せることもできる点が特長です。“ビニール傘”は、安価で手に入りやすいため置き忘れも多く、日本の年間消費量は 8,000 万本にも及ぶといわれています。廃棄された“ビニール傘”は、素材別の分別が難しく、リサイクルには適していません。また、焼却すると有害物質が発生するため、埋め立てられることも多いです。優秀賞のチームは、そんな厄介な“ビニール傘”のアップサイクルを、自分事として女子高生や女子大生に向けた商品と考えたこと、販売価格や販路、収益の一部を寄付するビジネスモデル、スライドの見やすさ、プレゼン方法のユニークさなどを評価し選出しました。

### ■ 無料授業「SDGs スクール」実施のノウハウ活かし、教育委員会に協力

当社は、この「職種体験プログラム」を通じて、当社の事業内容や社会貢献活動、企業理念への理解だけにとどまらず、中学生が普段接することのない“社会人”と触れる機会の創出により、将来の夢や職業について考えるきっかけ作りの一役を担うことができると考えました。そこで、当プログラムでは当社が手掛ける産業廃棄物中間処理業の事業内容の説明や SDGs・環境問題などの社会的課題についてのレクチャーだけにとどまらず、プログラムを担当した「地球環境・未来創造部」創設のいきさつや、担当者が現職に就いた経緯、環境問題に興味を持った中学生時代のことなど、中学生が職業を選択する際の参考になったり、将来への不安に対して勇気を与えたりできる内容も加えました。

当社はこれまでも、「未来に希望を抱く子どもたちに自然環境の大切さを学んでもらうこと」を目的に、対外的環境教育活動として、SDGs やリサイクルに関して学ぶ無料授業「SDGs スクール」を継続的に提供していることもあり、このノウハウを活かして、摂津市教育委員会の「職種体験プログラム」に協力することができたと考えています。

今後も当社は、リサイクル事業を通じて未来につなぐ持続可能な社会づくりに貢献し、たったひとつの故郷である“地球”に「ありがとう」を伝えていけるよう、地球環境保全の一助となる活動を継続したいと考えています。

## 【会社概要】

社名 : 三洋商事株式会社  
代表 : 代表取締役 河原林 令典（かわらばやし よしのり）  
本社所在地 : 東京都江戸川区東葛西 3 丁目 17 番 41 号  
TEL : 03-6808-2171  
URL : <https://sanyo-syoji.co.jp/>  
設立 : 1957 年（昭和 32 年）3 月 18 日  
資本金 : 9,000 万円  
従業員数 : 255 名（正社員 180 名、パート 75 名）令和 3 年 7 月 5 日現在  
事業内容 : 通信機器・交換機・コンピューター類のリサイクル、産業廃棄物の収集運搬及び処理、製鋼原料および非鉄原料の売買、貴金属類・地金回収販売、建設物及び工作物の解体・移設、中古機器器具の売買

公式 SNS アカウント : インスタグラム [https://www.instagram.com/sanyo\\_mirai](https://www.instagram.com/sanyo_mirai)  
ツイッター [https://twitter.com/sanyo\\_mirai](https://twitter.com/sanyo_mirai)

## ＜三洋商事について＞

当社は 1957 年の会社設立以降、60 年以上にわたってリサイクル（廃棄物処理）サービスを展開しています。廃棄物を出さないゼロエミッション型企業を目指し、通信機器やコンピューター類の分解はすべて手作業（手サイクル）でおこなうことで、リサイクル率 98%を実現しています。

2008 年には「手サイクル」の取り組みが評価され、産業廃棄物業として初めて『エコ・ファースト企業』に認定され、2014 年には『エコ・ファースト 環境メッセージ EXPO2014』において環境大臣賞を受賞しました。

また、2020 年 5 月には CSR 活動の強化を目的に、新部署「地球環境・未来創造部」を立ち上げ、現在 3 名の社員が CSR 活動（環境、労働安全衛生・人権、雇用創出、品質、取引先への配慮など）に従事しています。

当社は今後も、地球環境保全推進に向けて、「燃やさない、埋めない」リサイクルシステムや産業廃棄物の破砕・分別技術の向上を図り、循環型社会の一翼を担っていきます。



23 区唯一の自然島“妙見島”にある東京本社



産業廃棄物処理業として初めて  
エコ・ファースト企業に認定  
(全国でも 50 社のみ)

本件に関するお問い合わせ先
三洋商事広報事務局 担当：福土（ふくと）
MOBILE : 080-6538-6292
電話 : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788
E-mail : <a href="mailto:pr@netamoto.co.jp">pr@netamoto.co.jp</a>

## 参考資料

### 「地球環境・未来創造部」とは

当社は、“地球にありがとうを伝える企業”を経営理念に掲げ、持続可能な社会づくりへの貢献に力を入れています。また、環境保全活動および SDGs、CSR 活動、広報活動の強化を目的に、一般企業では珍しい環境保全に特化した新部署「地球環境・未来創造部」を 2020 年 5 月に立ち上げました。当部署立ち上げのきっかけはトップダウンではなく、当時入社 3 年目の現部長・石田の環境に対する熱い思いが代表河原林の心を動かしたことです。当部署はこれまで、全拠点の電力を再生エネルギー比率 100%へ切り替え、環境保全活動やボランティアへの参加および参画、講演会、社内の意識改革、環境絵本の寄贈・無料配布、全国無料「SDGs スクール」の開催、SNS やメディアを通じた情報発信等をおこなってきました。

これからも、社内外問わず、環境問題・社会課題に対して、より多くの方が興味を持ち、環境を守るとは自分や大切なものを守ることにつながるという意識の“きっかけ”を作る活動を続けています。

### 「地球環境・未来創造部」初代部長 石田 公希（いしだ まさき）



1995 年生まれ、26 歳。入社 4 年目。

大学では「環境学部」を専攻し、環境保全に並々ならぬ思いを抱いて入社。CSR の専任部門を創部したいという構想を立て、2 年前から社長に直談判し続け、ついに「地球環境・未来創造部」の創設を実現しました。

当社は以前から、森林保全活動や環境教育といった CSR 活動を先進的に取り組んでいたものの、総務部や人事部が包括的におこなっていたもので、専門的な部署は存在しませんでした。が、「地球環境・未来創造部」が独立した部門になったことで、SNS 発信などの広報力の強化や「SDGs スクール」の提供促進など、よりダイナミックな展開の実現に向けて活動の幅を広げています。

## 全国に無料で「SDGs スクール」提供



当社は、対外的環境教育活動として 2009 年度より全国無料「エコスクール」を継続実施しています。「エコスクール」は、工場見学や携帯電話を解体するリサイクル体験を主としていましたが、コロナ禍の影響もあり、座学中心のプログラム「SDGs スクール」としてリニューアルしました。このリニューアルにより、全国展開することが可能になり、今後はさらなる実施拡大を目指します。

当社は「SDGs スクール」を通じて、子どもたちが気候変動やゴミ問題などに対する正しい知識・関心を身につけるとともに、自然の大切さに興味を持つ機会を提供します。

## 全国でわずか 50 社だけの「エコ・ファースト企業」に認定



エコ・ファースト制度とは企業が環境大臣に対して地球温暖化対策や廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。当社は、人の手による解体“手サイクル”の取り組みなどが評価され、2008 年に産業廃棄物処理業で初めて「エコ・ファースト企業」として認定をいただきました。当社は、「エコ・ファースト企業」による自主運営組織「エコ・ファースト推進協議会」の一員として、『エコとわざ』コンクールに協力しています。『エコとわざ』コンクールは、全国の小・中学生から創作ことわざを募集。最優秀作品には「環境大臣賞」を授与するほか、加盟企業賞として「三洋商事賞」も授与しています。

詳細 URL:<http://www.ecotowaza.jp/>